

アイキョーホームプレゼンツ2023

8名によるラウンドロビン対戦表

ROUND	7 L - 8 L	1 1 L - 1 2 L	1 5 L - 1 6 L	1 9 L - 2 0 L
1	藤井 信人 VS 加藤 祐哉	川添 奨太 VS 木村 晃	高田 浩規 VS 渡邊 雄也	谷合 貴志 VS 日置 秀一
2	渡邊 雄也 VS 日置 秀一	高田 浩規 VS 谷合 貴志	加藤 祐哉 VS 木村 晃	藤井 信人 VS 川添 奨太
3	高田 浩規 VS 木村 晃	藤井 信人 VS 日置 秀一	谷合 貴志 VS 川添 奨太	加藤 祐哉 VS 渡邊 雄也
4	川添 奨太 VS 渡邊 雄也	谷合 貴志 VS 加藤 祐哉	藤井 信人 VS 高田 浩規	日置 秀一 VS 木村 晃
5	谷合 貴志 VS 藤井 信人	木村 晃 VS 渡邊 雄也	川添 奨太 VS 日置 秀一	高田 浩規 VS 加藤 祐哉
6	加藤 祐哉 VS 川添 奨太	日置 秀一 VS 高田 浩規	木村 晃 VS 藤井 信人	渡邊 雄也 VS 谷合 貴志
7	木村 晃 VS 谷合 貴志	渡邊 雄也 VS 藤井 信人	日置 秀一 VS 加藤 祐哉	川添 奨太 VS 高田 浩規
P・M	7位 VS 8位	1位 VS 2位	3位 VS 4位	5位 VS 6位

■ ラウンドロビン方式（総当たりボーナスポイント方式）の説明

今回、1次&2次予選・準々決勝・準決勝を勝ち抜いてきた上位8名の選手による決勝の競技方法をラウンドロビン方式で行います。

一人の選手が他の7名の選手と1ゲームマッチで、そのつど勝敗を決めていく方法で、ちょうど駒鳥が木々の枝から枝へと飛び廻る姿から、「ラウンドロビン」の名称がつけられたとされています。

この方式は、200点を基準とし、1ピンが1ポイントとして計算されるシステムです。200点を基準に上下のピン差でプラス点・マイナス点が出され、これに定められた勝ち点30ポイント（ボーナスポイント）が勝者に得点されていくものです。

例えば、A選手とB選手が戦い、A選手が220点・B選手が190点でA選手が勝った場合、勝者には定められた30ポイントと200点をオーバーした20ピン（ポイント）が加算され、50ポイントがA選手のポイントとなります。B選手は200点に達しなくまた敗れたので、200マイナス10となり、A選手のプラス50に対してB選手は、マイナス10とその差は大きく開いてしまいます。

またC選手とD選手が戦い、C選手が215点・D選手が220点でD選手が勝った場合、D選手はプラス50、C選手はプラス15となります。またE選手とF選手が戦い、E選手が198点・F選手が180点でE選手が勝った場合、E選手はプラス28・F選手はマイナス20となります。

尚、同ピンで引き分けの場合は、両者に15ポイントが与えられます。

そして総当たり1回戦7ゲームが終わって、1位と2位・3位と4位というように順位（ポジション）ごとに対戦していくポジションマッチ1ゲームを行いTV決勝進出者（上位3名）を決定致します。

このように1ゲーム、1ゲームが大事な勝負となります。A選手は何勝何敗か？

ポイントはどのくらい稼いでいるのか？プロの熱い戦いに期待して下さい！！

■ 決勝ステップラダー（3名によるステップラダー方式）

